

【 新規就農・後継者対策 】

1 開催期日 令和8年10月6日（火）～10月9日（金） 4日間

2 講義日程

月日	時間	講義名及び講師の所属氏名
10月6日 (火)	13:10 ～13:30	開講式
	13:30 ～14:30	畜産をめぐる情勢 畜産局 総務課 畜産総合推進室 調整班 専門官 川上 司
	14:45 ～15:45	新規就農及び担い手対策について 経営局 就農・女性課 経営専門職 住田 愛
	16:00 ～17:15	家畜衛生の現状と対策 消費・安全局 動物衛生課 保健衛生班 係長 田村 響平
10月7日 (水)	8:45 ～10:15	就農のための資金計画のポイント 一般社団法人 全国農業改良普及支援協会 普及参事兼情報部長 齊藤 総幸
	10:30 ～12:00	農業経営・畜産経営の特徴とその経営指導手法の基本的考え方 山崎農業経済研究所 所長 山崎 政行
	13:00 ～14:45	
15:00 ～16:45		
10月8日 (木)	8:45 ～11:45	総合討論「担い手確保のために必要な対策」 静岡県立農林環境専門職大学短期大学部 生産科学科 教授 長田 雅宏
	12:45 ～13:45	
10月9日 (金)	14:00 ～17:10	現地実習「(独) 家畜改良センター」 独立行政法人家畜改良センター企画調整部 管理課 改良技術専門役 新井友香理 管理課 係長 中村 道長 管理課 係員 篠原 朋恵
	8:45 ～10:15	子牛の衛生管理技術及び飼養管理 国立大学法人 岩手大学 獣医学部附属 産業動物臨床・疾病制御教育研究センター 特任准教授 松田 敬一
	10:25 ～11:55	
	13:00 ～14:30	
	14:30 ～14:45	閉講式

事情により講師及び時間を変更する場合があります。

3 開催場所（宿泊等の問合せ先）

独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設

住 所 〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1

T E L 0 2 4 8 - 2 5 - 7 0 6 0

F A X 0 2 4 8 - 2 5 - 6 7 5 5

4 受講対象者の範囲

国、地方公共団体、畜産関係団体又は農協等生産者団体等の職員で当該部門の指導に携わる初任指導職員、農業に従事する者

5 受講者数 20名程度

6 受講者の留意事項

(1) 受講者は、宿泊等については研修開始10日前までに中央畜産研修施設へ直接申し込むこと。

なお、領収書の宛先は原則個人名宛てになっているが、変更を希望する方は、宿泊届提出の連絡事項にその旨書き込むようにすること。

また、事情により欠席することとなった場合は、速やかにその旨を研修施設に連絡すること。

(2) 研修施設への入所は、研修初日の9時00分～12時00分までに行うこと。

なお、家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する当日は、極力、畜産関連施設等への訪問は避けること。

(3) 受講者は、共済組合員証（健康保険証）、筆記用具、寝間着等を持参すること。

(4) 受講生は、総合討論※（10月8日（木）実施）に関して、発言用資料（A4判タテ1枚程度）の作成等事前準備をしておくこと。

具体的には、受講者決定通知時に別途連絡する。

※総合討論について

(目的) 受講者が担当する地域や業務で抱えている課題を解決するための情報収集をねらいとして実施します。

(難易度) 全体討議方式にて、各受講者が事前提出資料等に基づいて説明を行い、受講者及び助言者と意見交換を行います。

(その他) 各受講生の事前提出資料は、受講者全員に配布します。

本研修に関する問合せ先

農林水産省畜産局総務課調整班 宮本

TEL 03-6744-0568（ダイヤルイン）